



# 県内自治体の決算状況 に比べて財政状況は

河合克平 議員

## 財政運営指標において 県内平均的である

総務部長

平成27年度の決算状況が発表された。県内各自治体と比べて市の財政状況の評価は。

**総務部長** 財政運営指標は県内平均的である。歳入面で地方交付税の段階的縮減等による財源不足の解消などや、歳出面では公共施設等の長寿命化等による維持管理及び改修費用の増加など厳しい財政課題を抱えているため、引き続き財政の健全化に努めていく。

基金は145億円、借入金は227億円、その内199億円が地方交付税で措置され、実質負担

は27億円。借入金の実質負担額に見合う基金があることは、苦しい財政状況であるのか。

**総務部長** 財政が苦しいとか苦しくないとかというふうで財政を運営しているわけでない。いかに適切に効率的に運用するかに基づいた結果が、過年度の財政の健全化になった。

財政が健全化されているのならば、財政が厳しいという表現を使うと、市民が誤解するのは。

**総務部長** 国に基づいた手法で計算した結果、将来的には多額の負担が生

じてくることも当然懸念されるので、これからも引き続き厳しい財政状況であることには違いがない。

### 18歳未満までの医療費の助成拡大は

中学校卒業までは平成26年は78%の自治体で完全無料化、27年では80%、そして今年に至っては85%と、県内では進んでいる。このことについての評価は。

また、18歳未満までの医療費の助成拡大は。

**健康福祉部長** 地域での

平成27年決算より	基金積立金残高		県内順位
	百万円	一人当	
飛島村	8,859	1,957,790	1
愛西市	14,545	223,845	6
蟹江町	4,171	113,688	16
あま市	9,120	105,173	17
稲沢市	10,225	74,986	25
大治町	2,160	72,263	28
愛知県平均	480,770	64,875	32
弥富市	2,789	64,453	33
津島市	1,822	27,920	52
一宮市	9,198	24,297	53
名古屋市	43,205	19,084	55

▲近隣市町村の基金積立金残高表

子ども医療費助成県下状況	77.80%	79.60%	85.10%
	2014年	2015年	2016年
愛西市	1.25 小学校卒業	小学校卒業	小学校卒業
津島市	1.38 義務教育前(18才所得制限)	小学3年(18才所得制限)	小学3年(18才所得制限)
北名古屋市	1.65 小~中学校1割(所得制限)	小~中学校1割(所得制限)	小~中学校1割(所得制限)
常滑市	1.39 小4~中学校1割	小4~中学校1割	中学校1割
南知多町	1.42 中~18才1.5割	中~18才1.5割	中~18才1.5割
豊橋市	1.59 中学校1.5割	中学校1.5割	中学校1.5割
半田市	1.54 中学校1割	中学校1割	中学校1割
あま市	1.55 中学校1割	中学校1割	中学校1割
一宮市	1.52 小~中学校1割	小~中学校1割	中学校卒業
犬山市	1.41 小4~18才1割	小4~18才1割	中学校卒業18才1割
江南市	1.42 小4~中学校1割	小4~中学校1割	中学校卒業
稲沢市	1.4 中学校1割	中学校卒業	中学校卒業

▲子ども医療費助成の県下の実施状況

取り組みの違いがあるという認識は持っているが、18歳未満までの経

済的負担の軽減については、ナショナルミニマムとして国の責任において環境整備が必要であると

考えており、今後も国への要望を続けていく。